



糞便中のノロウイルス検査（RT-PCR法） スケジュールのお知らせ

これからの季節、何といたってもノロウイルスによる食中毒が心配なシーズンです。弊社では検査受託の増加にあわせて、下記のように検査実施日を増やします。

記

項目名

- ノロウイルス検査（RT-PCR法）

対象期間	10/5～3/31まで
通常検査曜日	月～金（土日祝日を除く）
至急検査の対応 （土日祝日を含む）	事前に至急検査をご要望の方は、 当社営業担当までご一報ください

*なお、有症者等の至急検査は、土日祝日を問わず事前連絡で対応させていただきます。

不顕性感染者（自覚症状の無い健康保菌者）を発見するためのスクリーニング検査は、ノロウイルス食中毒事故を防止するための最も効果的な手段です。

大量調理施設衛生管理マニュアルに記述されているリアルタイムPCR法等の高感度検査に相当する“RT-PCR法”を推奨させていただきます。

実施期日など早めにお打合せいただく早割りは、通常価格を更にお値引きすることが可能です。この冬も安心して営業して頂くために、まずは今すぐご連絡ください。

株式会社 BMLフード・サイエンス 営業統括部

本社：〒161-0031 東京都新宿区西落合二丁目12番14号

☎ 札幌：011-633-6861 東京：03-5988-0218 名古屋：052-365-2310 大阪：06-4706-4400 福岡：092-432-8441

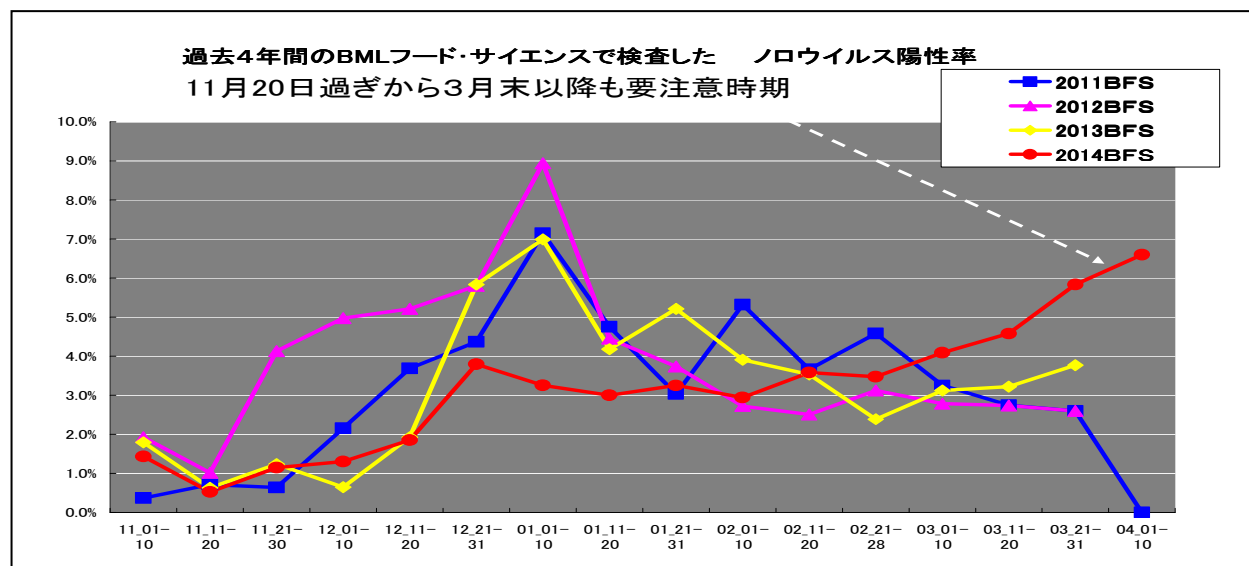
ノロウイルス検査（今年はGⅡ-17が流行すると警告されています）

ノロウイルス食中毒は、GⅡ-4株が出現した2006年と、表面構造が変化した2012年に大流行しました。

今年は昨年末より高率に確認され始めたGⅡ-17株が流行の原因になると予想されています。

これまでGⅡ-17株は、あまり流行していなかったため、我々の社会にはGⅡ-17に対する抗体保有者がほとんどいません。このため今シーズン爆発的に流行することが危惧されます。いずれにしてもこれからは、ノロウイルスの流行期間で、毎年15,000～20,000名以上が食中毒になります。

感染ルートは、人から人への感染で事故の90%程度を占め、自覚症状の無い不顕性感染者が、その半数を占めているという報告があります。飲食、ホテル業界、商業施設では少しも気の抜けない季節となりました。シーズン中は3～7%の検査陽性率が観察されています。スクリーニング検査を実施し保菌者を確実に見つけて事故防止にお役立てください。



不顕性感染者でも、有症患者とほぼ同等のウイルス排菌量があるといわれ、ハイリスクな感染源となります。こうした潜在的リスクを制御するには検査以外に方法がありません。感染者は下痢、嘔吐、発熱後に自然治癒しますが、症状が改善した後も1～2週間は排菌が続きます。症状が治まったからといって直ぐに職場復帰させず、RT-PCR等通知にある高感度な検査法による陰性確認をお願いします。

検査受託体制

RT-PCR法(島津製作所:検査用遺伝子配列はBMLの特許を採用)で実施しております。

検出感度は、大量調理施設衛生管理マニュアルで指示されているリアルタイムPCR法(遺伝子検査)と同等の高感度な検査です。10月5日～翌年3月末までは、月～金曜日検査を実施しております。また、有症者の緊急検査等は、事前連絡を頂ければ土日祝祭日も対応させていただきます。

お問い合わせ先

株式会社 BMLフード・サイエンス 営業統括部

本社：〒161-0031 東京都新宿区西落合二丁目12番14号

札幌：011-633-6861 東京：03-5988-0218 名古屋：052-365-2310 大阪：06-4706-4400 福岡：092-432-8441